

2017年
(平成29年)
10月発行

第14号 宝同協だより

め ぼ 芽 生 え



ハートン

編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

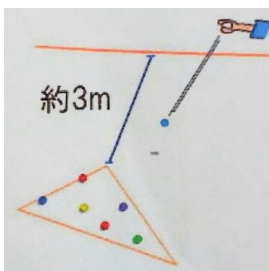
〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL:0797-77-2040/FAX:0797-71-1891

「昔のあそび」は工夫がいっぱい…

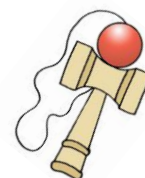


むかし、むかし、子どもたちはこんな遊びをしていたような・・・
それは、それは、いろんな遊びを生み出す力になったとさ・・・

ビー玉あそび



【遊び方】
参加者が同じ数だけビー玉を枠内に提供する。枠内のビー玉を自分のビー玉と共にはじき出せたら自分のものにしてできるが、自分のビー玉が枠内に残ってしまうと出たビー玉は次の人のチャンスになる。
中のビー玉がなくなったら終わり。



【遊び例】
立った姿勢で自分の目の位置からビー玉を落として当てる。当たったビー玉は自分のものにできる。

★教えてあげてください★
遊び方はそれぞれの地方で違うようです。子どもたちに昔あそびの話をして、一緒にあそんでみてください。



こままわし



地域の方と子どもたちとの楽しい時間でした。

「すぐり」
心棒が太い「すぐり」という雪の上で楽しめるこま。雪が降ってもこまを回したいという人々の思いから長く親しまれているこま。



おいがみ



懐かしく、また新鮮な昔の遊び。道具もルールもシンプルな分だけ様々な工夫ができます。人と人との関わり合いが、より楽しい時間をつくれます。
子どもたちの想像する力や相手を思いやる心を育てたのではないのでしょうか。

正方形の紙を折って動物や植物、生活用具などの形をつくる日本伝統の遊びです。組み合わせることでさらに芸術的なものまで…！
今や世界中に愛好家があります。



【津国・譽田】

2017 (平成 29) 年度 宝同協役員

役員名	名 前	所属・担当
会 長	和 久 有 彦 わく あり ひこ	—
副会長	うめ だ 美 佐 子 うめ だ み さ こ	総 務 担 当
	はやし じゅん こ はやし じゅん こ	研 究 担 当
	くろ だ 全 英 くろ だ ま さ ひ で	啓 発 ・ 広 報 担 当
	しみず ひろ 明 しみず ひろ あ き	会 計 担 当
部 長	しみず ひろ 明 しみず ひろ あ き	学 校 教 育 部
	ひら た 武 二 ひら た た け し に	社 会 教 育 部
	ちか なり 克 広 ちか なり か つ ひろ	行 政 部
	しん たに 俊 廣 しん たに と し ひろ	企 業 部
	あん だち 達 みづほ あん だち だち みづほ	校 区 人 権 啓 発 部



定期総会

定期総会に2008名が集う！

2017年度の宝同協定期総会が5月18日にソリオホールで開催されました。2008名のみなさんが出席され開会できました。

オープニングでは、うた三線ユニット「淡路ぬ二セター」のお2人の三線演奏と歌を披露していただきました。

和久会長による総会宣言ののち、議事が進行されました。昨年度の活動報告と会計報告に続いて、今年度の新役員を選出と活動方針案、予算案といった全ての議案が承認されました。今年度も活発で実りある活動が行われることを期待しています。

総会後には、兵庫県人権啓発ビデオ『風の匂い』を鑑賞して閉会しました。



学校教育課で貸出しています



オープニングの様子

淡路ぬ二セターさん～プロフィール～
 とともに兵庫県淡路島で三線を演奏していた葉満啓祐（はまけいすけ）さん・戎剛（えびすつよし）さんの2人が出会い、2011年11月に結成。ユニット名「淡路ぬ二セター」の「二セター」（二人達）はウチナーグチ（沖縄語）で「青年たち」。青年・葉満啓祐さんと（気持ちは青年）戎剛さんの2人で、淡路島を三線で盛り上げていくという思いでつづけています。
 「視覚障害」のある葉満啓祐さんの前向きに生きる姿と、淡路市教育委員会の人権教育・啓発に長く携わってきた戎剛さんの経験から三線の演奏をとおして命の大切さや生きる希望を伝えていきます。

「風の匂い」

2016年（平成28年）4月に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。この法律では、「不当な差別的扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。障がいのある人は社会の中にある「バリアー壁」によって行動の制限や不当な扱いを受けるなど、生活しづらい状況におかれることがあります。このバリアは物理的な問題だけでなく、障がいのある人への差別意識や知識不足からも生まれています。私たち一人ひとりが意識を変えてバリアをなくしていかなければなりません。

本作は、スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には「知的障害」がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった2人を隔てる健常者と障がい者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。

2人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。

※兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会「企画のねらい」より

阪同教研究大会

多数のご参加、ありがとうございました！

7月29日（土）、第64回兵庫県人権教育研究大会阪神地区大会が、尼崎市立浜田小学校、尼崎市立大庄北中学校で行われました。宝塚市からは244名の参加があり、各分科会場では熱心な討議が行われ活気あふれる大会となりました。宝同協からの分科会発表者は下記のとおりです。また、10月1日（日）に加古川市で行われた第64回兵庫県人権教育研究大会中央大会では、阪神地区大会で選出された安倉中保育所が発表しました。

- 聴く力を育てるために ～一人一人の発達を願って～
 宝塚市立安倉中保育所 林 美由紀 さん
- 互いに高まり合える仲間づくり ～校内白書研究会より～
 宝塚市立宝塚第一小学校 西岡 節子 さん
 小林 巧 さん
- 特別支援学級（肢体不自由学級）生徒の普通科高校進学に向けての取り組み
 宝塚市立光ヶ丘中学校 長瀬 広和 さん
- 子どもを守る人権教育 ～インターネットやSNSから子どもたちを守るため～
 宝塚市立宝塚中学校PTA 本田 みな子 さん
- 宝塚市第2地区自治会連合会の取り組み
 ～「見守ろう幼き子どもと高齢者」人権啓発推進～
 宝塚市第2地区自治会 今村 誠 さん

2歳の私は阪神大空襲で母におんぶされ、兄3人と近くの防空壕に逃げ込みました。昭和20（1945）年5月から始まった空襲は多くがB29による「焼夷弾」攻撃だったと後に母から聞きました。8月6日には家も焼かれ命からがら丹波の田舎に疎開しました。この日は広島に原爆が投下された日でもありません。

それに先立つ1年前の8月21日、沖縄の子どもたち784名が戦争の犠牲になっています。そつです。「対馬丸」の悲劇です。

この年の2月、南太平洋のガダルカナル島が米軍によっておちたときから、日本軍は次第に敗北の一途をたどったと聞きます。米軍は次第に日本を取り巻くように攻撃してきてついに沖縄決戦に向かいます。疎開は沖縄県の場合、九州です。7月22日に皇庁から市町村長と学校長に「学童集団疎開準備に関する件」が出されました。少国民の犠牲を避ける為と十万を超える兵隊の食糧調達の為でしょう。もつすべ戦場になる、渡航は敵の潜水艦で危険・・・子どもたちは修学旅行気分でしたが、親と先生たちは真剣に悩みました。そして、疎開すれば勉強できる環境を与えられるとの切ない思いから疎開に踏み切らせました。

8月21日午後6時、3船の貨物船が那覇を出港。そのうち一番大きい「対馬丸」は6754トン、長さ136メートルの大型で格好の標的となりました。翌22日の午後10時23分、米軍潜水艦の魚雷3発を受け10分余りで沈没、疎開者1661名をまびら788の人たちが真つ暗な海に投げ出されました。

氏名の判明した犠牲者は1482名、うち784名が疎開しようとした子どもたちでした。

「対馬丸」が教えてくれることは、戦争の悲劇は突然起こるものではなく、知らず知らずのうちに回かつことを知っておくことと、必ず子どもが犠牲になることとをいひたい。

（数字は「対馬丸記念館」による）【和久】

2017(平成29)年度 第7回 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」のご案内

大会テーマ：『 あなたに伝えたい わたしの思い 』

どなたでも自由に
参加できます

- 日 時：2018（平成30）年1月20日（土）13:30～16:30（受付は13:00～）
場 所：宝塚市立教育総合センター（宝塚市小浜1-2-1）
内 容：○ 日頃の生活の中での悩みや差別、人権の問題について共に考えます。
○ お互いの立場を考えながら、自らの体験や意見を積極的に出し合います。
○ 自分自身が今、出来ることを考え、共に生きる社会の実現をめざします。

- 日 程：全体会 13:30～14:00
・オープニング：安倉中学校吹奏楽部による演奏
・宝同協より ごあいさつと「つどい」の説明



昨年度の分科会の様子

分科会 14:10～16:30

	分科会名	報告者
第1分科会	子どもの人権について考える	《 交渉中 》
第2分科会	部落差別について考える	佐々木 基文 (良元小学校区人権啓発推進委員会)
第3分科会	障がいのある人との共生	左子 久容・左子 貴也 (障害者支援施設 希望の家ワークセンター)
第4分科会	在日外国人の人権を考える	小林 メアリー グレース (宝塚市民)
第5分科会	進路保障を考える ～定時制高校生のメッセージより～	山本 龍仁郎 (県立阪神昆陽高等学校2年)
第6分科会	さまざまな性について考える	大山 穰 (ミリオンベル@たからづか)
第7分科会	生徒たちと考えるメディアの中の人権	《 交渉中 》
第8分科会	学校園所における人権教育(保育)の今とこれから	・・・フリートーク・・・

人権を守る3つの法が成立

★昨年できた3つの法律を紹介します★

★部落差別解消推進法★

○現在もなお部落差別が存在することは、基本的な人権を保障している憲法の理念に反して許されない。

○国民一人一人が部落差別を解消する必要性を理解すること。

○国や県・市は部落差別の解消に関する施策、相談、教育、啓発、調査を行うこと。

★ヘイトスピーチ解消法★

○近年、日本国外の出身であることを理由に排除することを扇動する不当な差別的言動が行なわれている。

○国民は不当な差別的言動のない社会の実現に努めること。

○国や県・市は施策を講じ、相談体制の整備、人権教育の充実、啓発活動を実施すること。

★障害者差別解消法★

○障害があってもなくても、お互い尊重してだれもが安心して暮らせる共生社会の実現を。

○障害を理由に不当な差別的扱い、合理的配慮の不提供を禁止している。

○国や県・市は今ある相談機関を利用、「支援地域協議会」の設置、その他機関に協力依頼を。

(三法とも略称です)

解放文化祭の

お知らせ

まいだに解放文化祭

両日とも作品展示、パネル展示、模擬店 など

11月9日(木) 9:00~21:00

姿勢チェック体操、キーホルダー作り、「わくわく発見！」発表 など

11月10日(金) 9:00~19:00

人権講演会「えん罪と人権～“不運”だったけど、“不幸”ではない、我が人生に悔いなし」

講師：桜井 昌司さん(布川事件えん罪被害者)

お問い合わせ：まいだに人権文化センター ☎84-4461

FAX84-4463

くらんど解放文化祭

ただ今、施設改修工事中！

2～3月頃開催予定

お問い合わせ：くらんど人権文化センター ☎73-2222

FAX73-2223

ひらい解放文化祭

両日とも作品展示、出店 など

11月10日(金) 9:00~20:30

人権・同和問題講演会

『部落差別解消推進法』施行の意義と課題

～インターネット上における部落差別の現実～

講師：川口 泰司さん(山口県人権啓発センター事務局長)

11月11日(土) 9:00~20:30

わくわく学級生発表、南ひばりガ丘中によるコーラス など

お問い合わせ：ひらい人権文化センター ☎88-2795

FAX88-2774

宝同協だより「芽生え」編集委員

津国 千恵子・黒田 全英・梅田 美佐子

澤田 強志・谷口 史則・斉藤 康二郎・池澤 径子

小玉 いつ子・大塚 亜紀・和久 有彦・豊田 礼子

◇ 編集後記 ◇

昨年は人権を守る3つの法律ができました。「芽生え」では毎号、人権・同和に関する情報や取り組み、イベントを紹介してまいりました。「人権・同和」について考えていただける手がかりとなることやイベントに参加してくださるきっかけとなれば幸いです。次号では、人権・同和問題啓発入賞作品を紹介いたします。